



政権交代をしたけれど

理事 佐々木 義信

平成21年8月30日の衆議院選挙で民主党の圧勝に終わり、政権交代となり、鳩山内閣が発足したが、前途

紙上フォト・ギャラリー

紅くそびえる

皆さんも毎年楽しみにしている桜・紅葉があると思います。私のその一本がこの木です。なんてことはない道路脇の紅葉ですが、毎年見事に色づきます。

撮影／神本 博勝（神戸市東灘区）
<http://www.kami-moto.com/>



多難といった感じがする。

まず国土交通省（前原大臣）の八ッ場ダム並びに川辺川ダムの問題、これは関連住民との話し合いが問題となるだろう。空港（JALなど）の問題もある。また沖縄担当大臣としての沖縄・普天間基地の移転問題がある。これは長引くであろう。

厚生労働省（長妻大臣）に於いては、後期高齢者医療制度の中止、我々医療関係者に負担をかけないようにしてほしい。ややこしく複雑なものにせず、わかり易く簡単なものにしてほしい。更に障害者自立支援法の廃止の問題もある。

法務省（千葉大臣）は夫婦別姓制度の容認、これもいろいろと問題がありそうだ。金融・郵政改革省（亀井大臣）のモラトリアム制度（融資返済猶予制度）を主張しているが、これもいろいろと問題がありそうだ。外務省（岡田大臣）、防衛省（北沢大臣）のインド洋の給油問題もいろいろと問題がありそうだ。

いずれにしても、政権が替わったのだから好きなようにすればいいと思うが、国のため、国民のためにベターとなるようにしてほしい。それには、まず景気を良くし、失業率を改善し、貧困の格差をなくしてほしい。

